

平成30年度「心のアンケート」の結果について(概要)

山鹿市立八幡小学校

1 実施期日 平成30年12月

2 調査人数 199名／199名(全児童実施)

3 調査結果

以下は、学校生活についてといじめの有無についての結果です。

①学校生活全般

	合計	割合(%)
学校は楽しい	193	97.0
みんなで一緒にやるのは楽しい	191	96.0
授業がわかる	186	93.5
自信・自慢できるものがある	173	86.9

※「学校が楽しい」は97%で昨年と変わりません。逆に「学校があまり楽しくない」は6名。
 ※「授業がわかる」は昨年の91%から増加しました。逆に「授業がわからない」は13名。
 ※「自慢できるものがある」は昨年の92%から減少しました。「自信ない」が増えました。
 (対策)授業を充実させ、「わかる・できる」と実感させるように、今後も全力で取り組みます。
 あわせて、日頃から一人一人の頑張る姿に目を向け、認め褒め声をかけていきます。

②いじめの有無(今年度中にいじめがなかったか?)

	合計	割合(%)
いじめを受けたと答えた数	38	19.1
悪口やいじわるをした	29	14.6
いじめを見た、または聞いた	22	11.1

※「いじめを受けた」と答えたのは38名で昨年度の13.5%から増加しました。
 (低学年の訴えが多いです。口げんかが多くトラブルが多いことが原因と考えられます。)
 ※「いじわるをした」り、「見た・聞いた」は少なく、する方の自覚がないのが特徴です。
 (対策)「していいこと・言っていること」の判断や「相手の気持ちを考えて行動すること」の大切さについて、繰り返し学習し考えさせていきたいと考えます。

③いじめの認知について

	合計	割合(%)
いじめを受けたと答えた数	38	19.1
上記のうち、いじめと認知した人数	3	1.5

(認知に関して)
 「いじめを受けたことがある」と答えた児童に対し、個別の聞き取り調査と話し合い等を実施しました。
 注意深く経過を観察するなどして精査した結果、いじめ認知件数は3件とし、市教委へ報告いたしました。

4 調査を終えて

いじめの認知は「いじめ防止対策推進法」の定義によります。本校でも、この法の精神を学び、校内研修などで職員自身の人権感覚をみがくとともに、子どもたちの状況を密に情報交換しながら、子どもたちとの関わりを強めています。加えて、日常の授業や人権学習を通して相手の立場を理解し尊重して、他人を傷つけるようなことがないように学習を進めています。そして、今回訴えてくれた38名の児童に対して、またご家庭からご相談を受けた事案についても、詳しく聞き取り、対処しております。

課題としては、子どもの自尊感情を高めることやお互いの個性を認めよりよい人間関係を作っていくことです。そのために、学級の支持的風土づくりや児童や保護者の皆さんとの信頼関係づくりを目指して、努力していききたいと思います。